

【特集】 医療科学主専攻「進路に関する説明会」(2005/12/17)

第二部から



後藤美紀氏(筑波大学附属病院)



上妻行則氏(筑波大学人間総合科学研究科)



高柳美伊子氏(筑波メディカルセンター病院)



佐藤千秋氏(テイジン)

## 懇親会



第1回生も3年生の3学期を迎えて、それぞれが進路を考える時期にさしかかりました。就職や進学に関して情報提供をして、進路決定と情報収集ができるだけスムーズに出来るようにという趣旨のもと、今回の説明会は企画されました。

第一部では、学類卒業後に一般企業や公共機関などへの就職をめざす学生さんはどのように活動を行えばいいのかという視点から、学生部就職課から説明いただきました。正確な意味での先輩がいない本学類生にとっては、情報収集と自分の実力をいかに表現するかが大事な武器となるでしょう。就職はいつの時代もそれほどたやすいわけではありません。準備と行動を！ 私は何となく進学するよりは、早く現場で仕事をした方がいいと思っています（自分がそうであったからなのですが・・・）。

第二部では、多くの在学生在が進むであろう進路から、様々な立場にいらっしゃる先輩諸氏をお迎えして、現在に至るまでの経過や経験をお話いただきながら、Q&Aを行いました。臨床検査技師として病院へ就職する、大学院へ進学して研究をする、大学院への進学後研究職として企業へ就職する、こういった進路について、学生諸君には、漠然としていたものに現実感が持てたでしょうか。

今回の講演会の運営や事前質問の準備などを3年生の学生さんをお願いしましたが、講演いただいた講師の先生方が充実した準備を

して来学いただいたのとは対照的に、在学生の姿勢には消極性と未熟さを感じてしまいました、これはクラス担任をはじめとする教員の共通した感想でしょう。就職活動のみならず、進学にしても、もっと積極的が求められます。これからの授業や実習の中でもこういった訓練が必要だ！という示唆を教員がいただいた会でもありました。

残念ながら1&2年生の参加が少なかったのは、まだ切実感がないのでしょうか・・・？

（記 二宮治彦）